

# 目 次

本報告書を読む際の注意	1
I 調査の概要	3
II 調査結果の概要	7
1 回答者の性別・年齢について	9
(1) 性別	9
(2) 年齢	11
2 自殺対策の現状等について	12
(1) 自殺者数の周知度	12
(2) 自殺対策に関する事柄の周知度	13
(3) 自殺対策は自分自身に関わる問題だと思うか	26
(4) 自殺対策に関する考え方	27
3 悩みやストレスに関することについて	32
(1) 相談や助けを求めることへのためらい	32
(2) 不満や悩みやつらい気持ちに耳を傾けてくれる人の有無	34
(3) 物質的・金銭的な支援をしてくれる人の有無	36
4 自殺やうつに関する意識について	38
(1) 自殺についての意見	38
(2) 自殺を考えた経験	49
(3) 今までに本気で自殺したいと思ったことがあると答えた者の中で、 最近1年以内に自殺を考えた経験	51
(4) 自殺を考えたとき、どのように乗り越えたか	55
(5) 周りに自殺した人はいるか	57
(6) 身近な人から「死にたい」と言われたときの対応	58
(7) 身近な人の「うつ病のサイン」に気づいたとき	60
(8) 自分自身の「うつ病のサイン」に気づいたとき、利用したい専門の相談窓口	62
(9) 自分自身の「うつ病のサイン」に気づいたとき、 専門の相談窓口を利用しない理由	65
5 メディア（新聞・テレビ・ラジオなどの情報媒体）について	67
(1) メディアの接触頻度	67
(2) 自殺に関する報道接触状況	71
(3) 関心のある自殺報道	72
(4) インターネットにおける関心	74
(5) 自殺関連サイトへの接触状況	75
(6) 自殺関連サイトを見たきっかけ	77

6	今後の自殺対策について	78
(1)	児童生徒が、自殺予防について学ぶ機会があった方がよいか	78
(2)	児童生徒の段階において、自殺予防に資する学び	79
(3)	今後必要な自殺対策	81
7	回答者の職業・同居人の有無について	84
(1)	職業	84
(2)	同居人の有無	86
Ⅲ	調査票	89
Ⅳ	集計表	103
Ⅴ	標本抽出方法	151